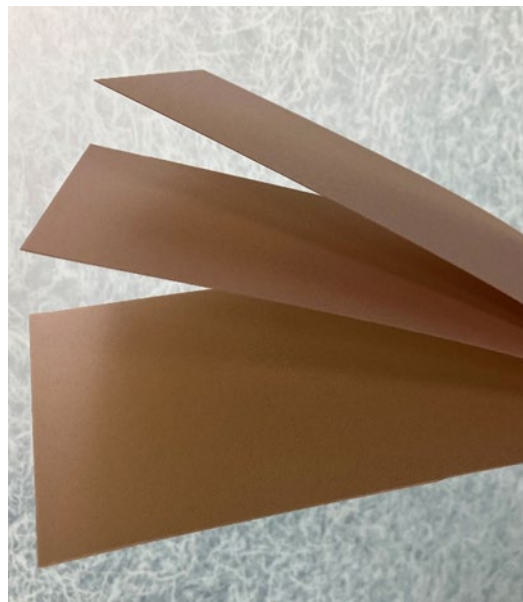


2023年5月24日
ユニチカ株式会社

「ユニレート」薄板『0.4mm厚』の 販売開始と今後の展開について

ユニチカ株式会社（本社：大阪府中央区 社長：上埜修司）は、ポリエチレンテレフタレート（以下：PET樹脂）をベースにした板材料「ユニレート」のラインナップ拡充を進めており、板厚み0.4mm（銘柄名：PC-0.4NT）の開発を行いました。新たに「ユニレート」薄板『0.4mm厚』を市場投入することにより、従来の厚みでは適用できなかった新たな用途開拓を行い、新規顧客の獲得を目指します。



「ユニレート」薄板『0.4mm厚』

1. 「ユニレート」の特徴

「ユニレート」はPET樹脂を主原料に、ガラス短繊維、無機フィラー等を充填複合し、押し出し成形後、加熱積層プレスを行った板材料です。

加熱積層プレスというPET樹脂では世界で他にない方法で製造をしており、板材料として反りや歪みが最も出にくいと評価されております。また、ナイロン、ポリアセタールなどの熱可塑性樹脂板に比較して、耐熱性、電気特性、強度などの基本特性に優れるとともに、切削加工や打ち抜き加工が容易です。

これらの特性を利用して、電気絶縁材料、機械部品、電子機器用検査治具、搬送用パレット・トレーなど幅広い分野で採用されています。

2. 「ユニレート」薄板『0.4mm厚』開発の背景について

「ユニレート」は、従来0.5mm厚（標準グレード：PCシリーズ）から90mm厚（超厚グレード：GCシリーズ）の厚みをラインナップし展開していましたが、カウンタープレート※用途などで、より薄い板材料が求められていました。

「ユニレート」にはガラス短繊維、無機フィラー等が充填されているため、0.5mmよりも薄い厚みでは平滑性が著しく悪化するなど、外観を満足できる製品を得ることができませんでした。この課題を解決するため、シーティングおよびプレス工程の条件調整を行うことで、0.4mm厚でも問題ないレベルの平滑性を達成することができ、「ユニレート」薄板『0.4mm厚』の開発に成功しました。

すでに、「ユニレート」薄板『0.4mm厚』の寸法安定性を生かした用途で採用されており、また金属（軽量化）や他の樹脂材料からの代替としてのニーズもあり、機械部品や電気絶縁材料等でも販売展開の強化を図ります。

※紙器加工などに使用され抜型の筋刃を受ける役割を果たす。

3. 今後の展開について

「ユニレート」薄板『0.4mm厚』の販売開始により、新規用途開拓や各種産業用途に対し採用拡大を進めてまいります。また、国内のみならず、アジア圏を中心に海外顧客開拓を進めることで、3年後に「ユニレート」薄板『0.4mm厚』は売上高5千万円/年を目指してまいります。

以 上

< 「ユニレート」薄板『0.4mm厚』に関するお客様のお問い合わせ先 >

ユニチカ株式会社 機能樹脂営業部

TEL : 06-6281-5354

< 「ユニレート」薄板『0.4mm厚』に関する報道関係者からのお問い合わせ先 >

ユニチカ株式会社 広報グループ

TEL : 06-6281-5695